

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和3年度】

(⑤その他の施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市森の都ならこの里		担当課名	生涯学習協働推進課	記入者職氏名	主事 竹内 友希
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市森の都ならこの里条例					
	(2) 施設設置目的	健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与するため設置する。					
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	総合案内施設1棟、オートキャンプ場約80台、バンガロー(6畳)20棟、バンガロー(8畳)3棟、バンガロー(12畳)3棟、バンガロー(5畳)1棟、コテージ5棟、共同炊事場6ヶ所、コインシャワー8基、トイレ4ヶ所、林間広場9,880㎡、テニスコート2面、管理棟1棟、温泉館1棟、森林科学館1棟					
	(4) 施設建設年度	総合案内施設(平成5年)、バンガロー(平成59年他)、コテージ(平成6年他)、管理棟(昭和56年)、温泉館(平成15年)、森林科学館(平成5年)					
	(5) 耐震性能の有無	有り					
	(6) 将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)						
	(7) 指定管理者名	株式会社 森の都ならこの					
	(8) 指定期間	令和4年 4月1日 から 令和6年 3月31日 まで					
	(9) 債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 ~) (限度額 千円)			
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度					
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
	(12)その他事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和3年度)				

区分		R01実績	R02実績	R03実績	R04当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	152,000	134,000	130,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	146,112	101,301	129,024		
	内訳 (施設・設備ごと)	①キャンプ場		68,721	52,159	66,395	
		②温泉館		76,710	49,142	62,599	
		③活動拠点施設		681	0	30	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	①区画サイト (定員 92人)	A平日昼間	15.3%	20.1%	55.8%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 11,387人÷222日＝51.3人/日 51.3÷92＝55.8%
B平日夜間							
C土日祝昼間			78.0%	72.6%	149.0%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 14,944人÷109日＝137.1人/日 137.1÷92＝149.0%	
D土日祝夜間							
②フリーサイト (定員 226人)		A平日昼間	16.1%	22.4%	19.9%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 9,974人÷222日＝44.9人/日 44.9÷226＝19.9%
		B平日夜間					
		C土日祝昼間	69.3%	61.2%	41.5%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 10,234人÷109日＝93.9人/日 93.9÷226＝41.5%	
		D土日祝夜間					
③コテージ (定員 60人)		A平日昼間	24.1%	18.8%	17.3%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 2,317人÷222日＝10.4人/日 11.3÷60＝17.3%
		B平日夜間					
		C土日祝昼間	75.7%	52.8%	44.2%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 2,886人÷109日＝26.5人/日 26.5÷60＝44.2%	
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	④バンガロー (定員 131人)	A平日昼間	16.6%	12.0%	13.1%	稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 3,807人÷222日＝17.1人/日 17.1÷131＝13.1%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	51.1%	40.2%	45.3%		稼働率＝年間利用者数÷営業日数÷定員数 6,466人÷109日＝59.3人/日 59.3÷131＝45.3%
			D土日祝夜間					
		温泉館 (定員 80人)	A平日昼間	19.2%	15.5%	18.5%	30,027人÷185日＝162.3人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、162.3÷11＝14.8人/日/回、 14.8÷80人＝18.5%	
			B平日夜間					
			C土日祝昼間	45.2%	30.0%	35.6%		32,576人÷104日＝313.2人/日(1回平均利用時間は1時間、 11時間で11回転として)、313.2÷11＝28.5人/日/回、 24.0÷80人＝35.6%
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			R01実績	R02実績	R03実績	R04当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		518	676	598			
	(3)運営日数		334	313	331	352		
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	27.0	27.0	31.0	31.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R01決算額	R02決算額	R03決算額	R04当初予算額	備考
	①人件費	48,462,808	45,568,108	53,767,495	49,000,000	
	②印刷費	4,065,398	3,400,936	3,049,495	1,700,000	
	③通信費	1,168,579	749,940	669,709	1,200,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	181,520	136,364	126,521	500,000	
	⑤借上料	1,511,959	1,589,500	2,077,291	2,000,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	5,636,560	4,218,470	4,861,851	6,000,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	14,605,338	12,812,252	12,592,637	10,000,000	
	計	75,632,162	68,475,570	77,144,999	70,400,000	
	対前年度増減率		△ 9.5	12.7	△ 8.7	
区分		R01決算額	R02決算額	R03決算額	R04当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,234,624	1,681,488	2,149,088	10,000,000	
		1,234,624	1,681,488	2,149,088	10,000,000	
	②修繕費	8,631,259	3,260,471	7,770,323	10,000,000	
	③光熱水費	12,147,600	9,520,126	13,826,681	15,000,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	2,821,577	3,047,775	11,339,539	0	
	計	24,835,060	17,509,860	35,085,631	35,000,000	
	対前年度増減率		△ 29.5	100.4	△ 0.2	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		100,467,222	85,985,430	112,230,630	105,400,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		75.3	79.6	68.7	66.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		80,446,413	60,549,319	92,955,716		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		106.4	88.4	120.5		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 施設利用料金収入	80,446,413	60,549,319	92,955,716	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a)－トータルコスト)	△ 20,020,809	△ 25,436,111	△ 19,274,914	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 自主事業の収入	25,836,474	17,278,422	16,587,919	
b) 自主事業の支出	10,881,409	6,919,793	8,012,296	
収支差額 a)－b)	14,955,065	10,358,629	8,575,623	
c) その他事業の収入	3,628,062	10,691,014	14,310,518	
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	3,628,062	10,691,014	14,310,518	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	2	【達成できていない点・主な課題】 ・バンガローなど季節によって稼働率が大きく上下する施設、テニスコートなど 年間を通して稼働率が低い施設がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・エアコンの設置など可能な範囲で設備を充実させ、年間を通して高い稼働率
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90	93.9	3	
B サービス内容の満足度	90	97.9	3	
C 従業員対応の満足度	90	91.2	3	
D 施設安全対策の満足度	90	90.1	3	
E 美観・清潔感の満足度	90	97.7	3	
F 施設の利用者数	134,000	129,024	2	【達成できていない点・主な課題】 ・緊急事態宣言による施設の休業に加え、職員の新型コロナ感染により、営業日数が予定より減少してしまった。 【いつまでに、どのように対応するか】

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・キャンプ場に隣接した崖の斜面から小規模の崩落があった。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・引き続き崩落危険箇所の施設は貸出を停止する。 ・火災報知器の発報時に、警備会社に直接連絡が届くよう改善されたが、引
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	【達成できていない点・主な課題】 ・市民の福祉の増進、地区の活性化に寄与していることから継続の必要性は高いが、民間事業者による事業運営が可能な分野であり、さらに施設の持つポテンシャルを発揮するためには、民間活力の導入の検討を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・令和5年度末の指定管理期間満了後の民間譲渡を視野に入れ、施設の
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・これまで社会情勢や利用者ニーズを反映した堅実な経営が行われてきたが、今後の加速度的に変化する社会情勢や利用者ニーズに対応するには専門的な知識を有する人材、柔軟な経営を行う体制が十分とは言えない。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計
29
/ 33

V その他自由意見